

2020年4月26日(復活節第 3主日)

東京聖三教会

聖書日課

復活節第3主日特祷

神よ、誉れあるみ子は、パンを裂くみ姿のうちに、ご自身を弟子たちに示されました。み恵みによって、わたしたちの信仰の目が開かれ、贖いのすべてのみ業のうちに主を見出すことができますように、父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

旧約聖書 使徒言行録 2:14a,36-47

すると、ペトロは十一人と共に立って、声を張り上げ、話し始めた。

「だから、イスラエルの全家は、はっきり知らなくてはなりません。あなたがたが十字架につけて殺したイエスを、神は主とし、またメシアとなさったのです。」人々はこれを聞いて大いに心を打たれ、ペトロとほかの使徒たちに、「兄弟たち、わたしたちはどうしたらよいのですか?」と言った。すると、ペトロは彼らに言った。「悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。この約束は、あなたがたにも、あなたがたの子供にも、遠くにいるすべての人にも、つまり、わたしたちの神である主が招いてくださる者ならだれにでも、与えられているものなのです。」ペトロは、このほかにもいろいろ話をして、力強く証しをし、「邪悪なこの時代から救われなさい」と勧めていた。ペトロの言葉を受け入れた人々は洗礼を受け、その日に三千人ほどが仲間に加わった。

彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心

であった。すべての人に恐れが生じた。使徒たちによって多くの不思議な業としたりが行われていたのである。信者たちは皆一つになって、すべての物を共有にし、財産や持ち物を売り、おのこの必要に応じて、皆がそれを分け合った。そして、毎日ひたすら心を一つにして神殿に参り、家ごとに集まってパンを裂き、喜びと真心をもって一緒に食事をし、神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加え一つにされたのである。

日課詩篇 第 116 篇 12-19

- 12 主が与えてくださったすべての恵みに // わたしはどのようにこたえようか
- 13 救いの杯を献げ // 主のみ名を呼び求めよう
- 14 わたしはすべての民の前で // 主に立てた誓いを果たそう
- 15 神を敬う人の死は // 主の目に尊い
- 16 主よ、わたしはあなたの僕 // わたしはあなたに仕え、あなたはわたしを救われる
- 17 わたしは感謝のいけにえを献げ // 主のみ名を呼び求めよう
- 18 わたしはすべての民の前で // 主に立てた誓いを果たそう
- 19 エルサレムよ、お前の中で // 主の家の中庭で、ハレルヤ

使徒書 ペトロの手紙一 1:17-23

また、あなたがたは、人それぞれの行いに応じて公平に裁かれる方を、「父」と呼びかけているのですから、この地上に仮住まいする間、その方を畏れて生活すべきです。知ってのとおり、あなたがたが先祖伝来のむなしい生活から贖われたのは、金や銀のような朽ち果てるものにはならず、きずや汚れのない小羊のようなキリストの尊い血によるのです。キリストは、天地創造の前からあらかじめ知られていましたが、この終わりの時代に、あなたがたのために現れてくださいました。あなたがたは、キリストを死者の中から復活させて栄光をお与えになった神

を、キリストによって信じています。従って、あなたがたの信仰と希望とは神にかかっているのです。あなたがたは、真理を受け入れて、魂を清め、偽りのない兄弟愛を抱くようになったのですから、清い心で深く愛し合いなさい。あなたがたは、朽ちる種からではなく、朽ちない種から、すなわち、神の変わることのない生きた言葉によって新たに生まれたのです。

福音書 ルカによる福音書 24:13-35

ちょうどこの日、二人の弟子が、エルサレムから六十スタディオン離れたエマオという村へ向かって歩きながら、この一切の出来事について話し合っていた。話し合い論じ合っていると、イエス御自身が近づいて来て、一緒に歩き始められた。しかし、二人の目は遮られていて、イエスだとは分からなかった。イエスは、「歩きながら、やり取りしているその話は何のことですか」と言われた。二人は暗い顔をして立ち止まった。その一人のクレオパという人が答えた。「エルサレムに滞在しながら、この数日そこで起こったことを、あなただけのご存じなかったのですか。」イエスが、「どんなことですか」と言われると、二人は言った。「ナザレのイエスのことです。この方は、神と民全体の前で、行いにも言葉にも力のある預言者でした。それなのに、わたしたちの祭司長たちや議員たちは、死刑にするため引き渡して、十字架につけてしまったのです。わたしたちは、あの方こそイスラエルを解放してくださいと望みをかけていました。しかも、そのことがあってから、もう今日で三日目になります。ところが、仲間の婦人たちがわたしたちを驚かせました。婦人たちは朝早く墓へ行きましたが、遺体を見つけずに戻って来ました。そして、天使たちが現れ、『イエスは生きておられる』と告げたと言うのです。仲間の者が何人か墓へ行って見たのですが、婦人たちが言ったとおりで、あの方は見当たりませんでした。」そこで、イエスは言われた。「ああ、物分かりが悪く、心が鈍く預言者たちの言ったことすべてを信じられない者たち、メシアはこういう苦しみを受けて、栄光に入るは

ずだったのではないか。」そして、モーセとすべての預言者から始めて、聖書全体にわたり、御自分について書かれていることを説明された。一行は目指す村に近づいたが、イエスはなおも先へ行こうとされる様子だった。二人が、「一緒にお泊まりください。そろそろ夕方になりますし、もう日も傾いていますから」と言って、無理に引き止めたので、イエスは共に泊まるため家に入られた。一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明して下さったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。そして、時を移さず出発して、エルサレムに戻ってみると、十一人とその仲間が集まって、本当に主は復活して、シモンに現れたと言っていた。二人も、道で起こったことや、パンを裂いて下さったときにイエスだと分かった次第を話した。

代祷：

代祷者 世界の教会とわたしたちの教区のために祈りましょう。

本日は、

- アングリカン・コミュニオン:エルサレムおよび中東聖公会、マイケル・ルイス大主教(キプロス教区主教)のため
- 日本聖公会:首座主教 ナタナエル植松 誠主教、京都教区と教区主教 ステパノ高地 敬主教のため
- 東京教区:教区主教 フランシスコ・ザビエル高橋宏幸主教、清瀬聖母教会、全生園聖フランシス聖エリザベツ礼拝堂、環状教会グループ(協議会、牧師協議会)のため
- エルサレム教区:諸聖徒教会(ダマスカス)のため
- メリーランド教区:三一教会(ロング・グリーン)と聖慰主教会(ルーサービル)のため

これらの教会、また世界に広がるすべての教会を覚えて祈ります
一同 主よ、お聞きください

代祷者 世界の国々の正義と平和のために祈りましょう。

争い・分裂のうちにある、またそれを引き起こしている国々とその
指導者の悔い改めのために
不正義、不平等、人間の尊厳を傷つける搾取、傲慢や強欲、ます
ます一般化する無関心を私たちが取り除くことができるように祈りま
す

一同 主よ、お聞きください

代祷者 わたしたちの教会と地域社会のために祈りましょう。

わたしたちの所属する教会のため
教会の置かれた地域社会のため
自分の家が属する地域社会のために祈ります

一同 主よ、お聞きください

代祷者 苦しみや悲しみのうちにある人びとのために祈りましょう。

心や体に病を持つ人びとのため
孤独な人、愛する人を失った人、抑圧・虐待されている人びとのた
め
家や食べ物が無い人、貧困のうちにある人、生活に必要なものが
与えられない人びとのため
難民、囚人、また犯罪被害者のため
事故や過失により傷を負った、また他の人に傷を負わせた人びと
のため
その他、多くの悩み・悲しみ・苦しみのうちにある人びとのために祈
ります

一同 主よ、お聞きください

代祷者 世を去った人びとのために祈りましょう。

(この世を去った方々を覚え、名前を挙げてよい)
世を去ったすべての人の、あなたの永遠のみ国における平安を祈

ります

一同 主よ、お聞きください

代祷者 憐れみ深い神よ、あなたは私たちを知り、私たちを愛し、私たちの祈りをお聞きくださいます。私たちが、いつもあなたとの交わりのうちにあり、喜びをもって仕えることができますように。み子イエス・キリストのみ名によってお願いいたします アーメン